

8. 教員免許状及びその他の資格取得について

(1) 教育職員免許状（高等学校教諭一種免許状）の取得について

教員免許状取得希望の学生へ

農学部で教員免許を取得するためには、自己の卒業所要単位以外に、免許に関する科目の履修が必要です。更に、教育実習（基本・応用）も義務付けられます。

教育実習は実際に中学校・高校において、授業を行い、教師としての勉強をする機会ですが、教育実習生を受け入れる学校側は、みなさんを教師とみなすため、生徒に与える影響や責任の大きさは、はかり知れません。

また、中学校・高校は、大学卒業後に教員としての就職を目指す学生を教育実習生として受け入れたいと考えています。

就職についてですが、教職とその他の就職活動の両立はかなり困難であります。その理由は、教員採用試験は受験勉強にかなりの時間を要すること。教育実習の期間が就職活動時期と重なる場合があること。教職と他の就職試験日が重なる場合があること。これらの理由により併願は難しいとされています。このことを念頭に置き、教員免許取得に挑んでください。

教員免許状取得までの主なスケジュール

（時期は予定であり、年度により異なる。日程は必ず掲示で確認すること）

学年	時 期	行 事 内 容	注 意 事 項
1～2	2年次2月 2年次3月	教員免許説明会 教育職員免許状取得希望調書の受付開始 教育職員免許状取得希望調書提出	受講を要する科目を配当年次に修得できるように、履修計画を立てる ポータルサイトや掲示板で連絡（注） 3月20日頃まで（注）
3	4月～5月 6月～8月 9月	教育実習校選定の説明会 実習校との交渉（内諾を得る） 麻疹免疫の証明を提出	調書提出者が対象 各自が実習校と交渉
4	4月 〃 5月 5月～9月 4月～6月 7月 〃 11月 2月中旬 3月	教育実習事前及び事後指導（事前指導） 教育実習説明会 基本実習（附属中学校） 応用実習（各実習高校） 教員採用試験出願期間 教育実習事前及び事後指導（事後指導） 教育実習反省会（7月or10月） 教育職員免許状授与願の事前提出 教育職員免許状授与願の本提出 卒業式・教員免許状交付	日程は掲示 3日間 2週間程度 各自が願書等取り寄せ 日程は掲示する 教務・学生支援係より様式配付 宮崎県収入証紙（県機関で学生が購入）を貼付

（注）教育職員免許状取得希望調書は、3年次の4月初旬に取得希望者の把握のために用います。調書の提出がないと免許取得が困難となりますので、必ず提出願います。なお、本調書の提出後に免許取得の意志がなくなった時は、教務・学生支援係に申し出てください。調書の様式は教務・学生支援係より配付しますので、希望者は教務・学生支援係の連絡に従って提出願います。

教員免許状取得の方法について

教員免許状の取得を希望する者については、別に定める必要な単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請をした者に高等学校教諭一種免許状が与えられる。

1) 農学部学生の取得できる免許状の種類及び教科

学 科	免許状の種類	免許教科
植 物 生 産 環 境 科 学 科	高等学校教諭一種免許状	農業・理科
森 林 緑 地 環 境 科 学 科	〃	農業・理科
応 用 生 物 科 学 科	〃	農業・理科
海 洋 生 物 環 境 学 科	〃	水産・理科
畜 産 草 地 科 学 科	〃	農業・理科

2) 基礎資格及び修得単位数 教育職員免許法から抜粋 別表第1（第5条関係）

第1欄		第2欄	第3欄	
所要資格 免許状の種類		基礎資格	大学において修得することを必要とする最低単位数	
			教科及び教職に関する科目	特別支援教育に関する科目
高等学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。	83	
高等学校教諭	一種免許状	学士の学位を有すること。	59	

教育職員免許法施行規則から抜粋 第5条

第 1 欄		教科及び教職に関する科目		専修免許状	一種免許状
最低修得単位数	第 2 欄	教科及び教科の指導法に関する科目		24	24
	第 3 欄	教育の基礎的理解に関する科目		10	10
	第 4 欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		8	8
	第 5 欄	教育実践に関する科目	教育実習	3	3
			教職実践演習	2	2
	第 6 欄	大学が独自に設定する科目		36	12
合計				83	59

3) 免許状を取得するための単位修得方法

- 宮崎大学農学部を卒業すること。
- 次ページ以降の表（①～③）の科目について全て単位を修得していること。
 - ①教科及び教科の指導法に関する科目（自己の所属する学科・免許種の表を参照すること）
 - ②教育の基礎的理解に関する科目等
 - ③文部科学省令で定める科目

① 教科及び教科の指導法に関する科目

次ページ以降の自己の所属する学科の表を参考に免許種毎に指定された科目・単位数を履修すること。
 なお、卒業要件の単位とは別に免許状取得のための必修科目が免許種毎に設定されているので注意すること。（必修科目は全て履修しなければ免許状を取得できない。）

各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）については、農業コースは農業科教育法Ⅰ及び農業科教育法Ⅱ、水産コースは水産科教育法、理科コースは教科教育法（中等理科）及び教科教育法（理科）の4単位を必ず履修すること。

ただし、農業免許又は水産免許のみ取得を希望する者も、附属中学校での実習を行うため、教科教育法（中等理科）、教科教育法（理科）は必修となるため注意すること。

植物生産環境科学科＜理科コース＞
教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目 名	単位数		最低修得単位数	備 考
科目区分	各科目に含めることと が必要な事項		必修	選択		
物理学		物理学概論	2		2	集中(2年生以上)
		生物応用力学		2		
		生物計測工学		2		
		農業動力機械学		2		
化 学		基礎化学	2		2	学部共通科目
		青果代謝生理学		2		
生物学		生物学概論 (植物生産環境科学)	2		2	集中(2年生以上)
		昆虫生態学		2		
		植物病理学各論		2		
		植物病理学総論		2		
		総合的害虫管理学		2		
		植物生理学		2		
		果樹園芸生理学		2		
		花き園芸生理学		2		
地 学		地学概論	2		2	集中(3年生以上)
		農地環境工学			2	
「物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験」		植物生産科学実験Ⅰ	1		3	
		植物生産科学実験Ⅱ	1			
		植物生産環境科学基礎実験・実習Ⅰ		1		
		植物生産環境科学基礎実験・実習Ⅱ	1			
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		教科教育法 (中等理科)	2		4	3年生以上
		教科教育法 (理科)	2			3年生以上

※下線は必修科目を示す。

植物生産環境科学科＜農業コース＞
教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目 名	単位数		最低修得単位数	備 考	
科目区分	各科目に含めることとが 必要な事項		必修	選択			
教科に関する専門的事項	農業の 関係科目	果樹園芸学各論		2	36		
		果樹園芸学総論		2			
		企画実習		1			
		栽培学		2			
		栽培植物起源論		2			
		作物生産学		2			
		作物学総論		2			
		雑草防除学		2			
		施設園芸学		2			
		生産流通施設学		2			
		生物生産システム工学		2			
		GAP概論		2			
		農業経済学	2				
		農場実習Ⅰ		1			
		農場実習Ⅱ		1			
		野菜園芸学		2			
		野菜園芸学各論		2			
		農業・社会調査実習		1			
		農業経営学		2			
		農業政策論		2			
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を 含む。)	職業指導	植物生産環境科学概論	2				
		社会統計学	2				
		園芸利用学		2			
		職業指導	2		2	集中(3年生以上)	
		農業科教育法Ⅰ	2		4	3年生以上	
		農業科教育法Ⅱ	2			3年生以上	

※下線は必修科目を示す。
※農業免許のみ取得を希望する者も、理科コースの教科教育法 (中等理科)、教科教育法 (理科) は必修である。

森林緑地環境科学科＜理科学科＞

教科及び教科の指導法に関する科目

科目区分	施行規則に定める科目区分等 各科目に含めること が必要な事項	授 業 科 目 名	単 位 数		最低修得単位数	備 考
			必修	選択		
物理学		基礎物理学（森林緑地環境科学）	2		36	森林緑地環境科学 専門科目
		構造力学		2		
		土質力学		2		
		土壌物理学		2		
化学		応用力学・水理学		2	36	学部共通科目
		基礎化学	2			
		木材化学		2		
生物学		生物学概論（森林緑地環境科学）	2		36	集中（3年生以上）
		森林生態学		2		
		木本植物組織学		2		
		樹木生態生理学		2		
地学		地学概論	2		36	集中（3年生以上）
		水文・気象学		2		
		砂防学		2		
		国土管理保全学		2		
		水資源管理学		2		
「物理学実験・化学実験、生物学実験、地学実験」		木本植物組織学実験	1		1	
		環境材料科学実験		1		
各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む。）		教科教育法（中等理科）	2		4	3年生以上
		教科教育法（理科）	2			3年生以上

※下線は必修科目を示す。

森林緑地環境科学科＜農業コース＞

教科及び教科の指導法に関する科目

科目区分	施行規則に定める科目区分等 各科目に含めること が必要な事項	授 業 科 目 名	単 位 数		最低修得単位数	備 考
			必修	選択		
教科に関する専門的事項		森林緑地環境科学概論	2		36	
		森林緑地フィールド実習Ⅰ	1			
		森林緑地フィールド実習Ⅱ	1			
		樹木学		2		
		森林計測学	2			
		測量学	2			
		森林経済学	2			
		森林計画学		2		
		景観生態学		2		
		森林政策学		2		
		造林学		2		
		農山村環境計画学	2			
		測量学実習	1			
		樹木学実習		1		
		森林計測学実習		1		
		植生調査実習		1		
		森林計画学実習		1		
		造林学実験実習		1		
		水理学	2			
		植生立地学		2		
職業指導 各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む。）		森林資源利用科学		2	2	
		森林利用学		2		
		森林土木学実習		1		
		森林保護学		2		
職業指導 各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む。）		職業指導	2		4	集中（3年生以上）
		農業科教育法Ⅰ	2			3年生以上
		農業科教育法Ⅱ	2			3年生以上

※下線は必修科目を示す。

※農業免許のみ取得を希望する者も、理科コースの教科教育法（中等理科）、教科教育法（理科）は必修である。

応用生物科学科＜理科コース＞

教科及び教科の指導法に関する科目

科目区分	施行規則に定める科目区分等 各科目に含めること が必要な事項	授 業 科 目 名	単位数		最低修得単位数	備考
			必修	選択		
物理学	物理学	物理学概論	2		2	植物生産環境科学科 専門科目 集中(2年生以上)
		基礎化学 (応用生物科学)	2			
		分析化学		2		
		無機化学		2	2	
		有機化学		2		
		生物有機化学		2		
化学	化学	酵素化学		2		
		生物学概論 (応用生物科学)	2			集中(2年生以上)
		基礎微生物学 (応用生物科学)		2		
		生物化学Ⅰ		2	2	
		生物化学Ⅱ		2		
		植物遺伝・育種学		2		
生物学	生物学	微生物機能開発学		2		
		地学概論	2			集中(3年生以上)
		土壌肥科学		2		
		生物学実験	1			
		分析化学実験		2		
		有機化学実験		1	1	
地学	地学	微生物学実験		1		
		生物化学実験		1		
		応用生物化学実験		1		
「物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験」	「物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験」					
教科に関する専門的事項	教科に関する専門的事項	教科教育法 (中等理科)	2		4	3年生以上
		教科教育法 (理科)	2			3年生以上

※下線は必修科目を示す。

応用生物科学科＜農業コース＞

教科及び教科の指導法に関する科目

科目区分	施行規則に定める科目区分等 各科目に含めること が必要な事項	授 業 科 目 名	単位数		最低修得単位数	備考
			必修	選択		
教科に関する専門的事項	教科に関する専門的事項	生命化学概論	2			
		食品化学		2		
		食品製造学		2		
		農産食品製造学		2		
		畜産食品製造学		2		
		水産食品製造学		2		
		食品保蔵化学		2		
		食品衛生学		2		
		食品分析化学		2		
		微生物化学		2		
		栄養化学		2		
		植物遺伝資源学		2		
		遺伝子工学		2		
		細胞工学		2		
		植物栄養生化学	2			
		公衆衛生学		2		
農業の 関係科目	農業の 関係科目	食品工学		2		
		生物機能科学実験		1		
		生物工学実験		1		
		食品機能化学実験		1		
		食品製造学・衛生化学実験		1		
		職業指導	2		2	集中(3年生以上)
		農学科教育法Ⅰ	2			3年生以上
		農学科教育法Ⅱ	2		4	3年生以上

※下線は必修科目を示す。

※農業免許のみ取得を希望する者も、理科コースの教科教育法 (中等理科)、教科教育法 (理科) は必修である。

海洋生物環境学科＜理科コース＞

教科及び教科の指導法に関する科目

科目 区分	施行規則に定める科目区分等 各科目に含めること が必要な事項		授 業 科 目 名	単位数		備考
	科目 区分	各科目に含めること が必要な事項		必修	選択	
物 理 学	化 学	物理	物理学概論	2	2	植物生産環境科学科 専門科目 集中(2年生以上)
			化学概論 (海洋生物環境学)	2		
			基礎水域化学		2	
			水産化学		2	
			基礎増養殖学		2	
生 物 学	物 理 学	生物	生物学概論 (海洋生物環境学)	2		集中(2年生以上)
			海洋生物分類学		2	
			魚類学		2	
			サンゴ礁学		2	
			水族病原微生物学		2	
			海洋生物遺伝学		2	
			微生物との共生		2	
地 学	地 学	地学	地学概論	2	2	集中(3年生以上)
			浅海生態学		2	
			水産化学実験Ⅰ	1		
			水産化学実験Ⅱ		1	
			海洋生物環境学実習		2	
			海洋生物学実習		1	
			海洋生物環境学基礎実験			
各教科の指導法 (情報通信技術の活用 を含む。)	各教科の指導法 (情報通信技術の活用 を含む。)	教科教育法 (中等理科)	教科教育法 (中等理科)	2	4	3年生以上
			教科教育法 (理科)	2		

※下線は必修科目を示す。

海洋生物環境学科＜水産コース＞

教科及び教科の指導法に関する科目

科目 区分	施行規則に定める科目区分等 各科目に含めること が必要な事項		授 業 科 目 名	単位数		備考
	科目 区分	各科目に含めること が必要な事項		必修	選択	
教 科 に 関 する 専 門 的 事 項	水産の 関係科目	水産の 関係科目	海洋生物環境学概論	2		36
			海洋代謝生化学		2	
			水産食品科学		2	
			水産飼料科学		2	
			魚病学	2		
			水生生物生体防御学		2	
			環境微生物学		2	
			マリンバイオテクノロジー		2	
			魚類生理学	2		
			水族生産学体験講座		2	
			水産増養殖学		2	
			水域生物生理学		2	
			海洋微生物学実験		1	
			水産遺伝子工学実験		1	
			水族生理学実験		1	
			水生生物解剖分類学実験		1	
			水族館学		1	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用 を含む。)	職業指導	職業指導	水産食品微生物学	2		集中(3年生以上)
			海洋分子科学		2	
			海洋生物生産学		2	
			マリンダイビング論		1	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用 を含む。)	職業指導	職業指導	漁業学概論		2	3年生以上
			職業指導	2	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用 を含む。)	職業指導	職業指導	水産科教育法	4	4	3年生以上
			水産科教育法			

※下線は必修科目を示す。

※水産免許のみ取得を希望する者も、理科コースの教科教育法 (中等理科)、教科教育法 (理科) は必修である。

畜産草地科学科＜理科コース＞

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目 名	単 位 数		最低修得単位数	備 考
科目区分	各科目に含めること が必要な事項		必修	選択		
物理学	物理学概論		2		2	植物生産環境科学科 専門科目 集中(2年生以上)
	化学	畜産草地科学基礎化学	2		2	
生物学		生物学概論 (畜産草地科学)	2		2	集中(2年生以上)
		草地・草原環境保全・修復学		2		
		草類利用学		2		
		動物生殖制御学		2		
		動物育種資源学		2		
		草地システム生態学		2	2	
		地域環境保全論		2		
		放牧生態学		2		
		衛生微生物学		2		
		動物行動学		2		
地 学		野生動物・動物園学		2		
		Tropical Forage Science and Biotechnology		2		
		地学概論	2		2	集中(3年生以上)
		土壌管理学概論		2		
		畜産草地科学基礎実習	1			
「物理学実験、化学実験・生物学実験、地学実験」		畜産草地科学基礎実験	1		2	
		動物生殖生理学実験		1		
		草類利用学実験		1		
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		教科教育法 (中等理科)	2		4	3年生以上
		教科教育法 (理科)	2			3年生以上

※下線は必修科目を示す。

畜産草地科学科＜農業コース＞

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目 名	単 位 数		最低修得単位数	備 考
科目区分	各科目に含めること が必要な事項		必修	選択		
教科に関する専門的事項	農業の 関係科目	畜産草地科学序説	2		36	
		畜産草地科学概論	2			
		家畜栄養学		2		
		牧場実習Ⅰ		1		
		動物生殖生理学		2		
		飼料作物学		2		
		草地畜産論		2		
		動物環境管理学		2		
		動物環境管理学実験		1		
		飼料学		2		30
		家畜栄養学実験		1		
		環境草地学		2		
		草地生産・生態学実験	2			
		動物育種学		2		
		動物福祉学		2		
		牧場実習Ⅱ		1		
	草地植生管理学		2			
植物バイオテクノロジー		2				
草類遺伝資源・育種学実験		1				
家畜飼養管理学		2				
職業指導		2	2		集中(3年生以上)	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		農業科教育法Ⅰ	2	4	3年生以上	
		農業科教育法Ⅱ	2		3年生以上	

※下線は必修科目を示す。
※農業免許のみ取得を希望する者も、理科コースの教科教育法 (中等理科)、教科教育法 (理科) は必修である。

② 教育の基礎的理解に関する科目等 3年生以上対象

施行規則に定める科目区分等		宮崎大学で開設する 授業科目名	単位数	備考
科目	各科目に含めることが必要な事項			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職入門	1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	学校教育心理学	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	1	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	
道徳、生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目及び	総合的な探究の時間の指導法	総合的な探究の時間の指導法	1	
	特別活動の指導法	特別活動論	2	
	教育の方法及び技術	教育の方法と技術（情報通信技術の活用を含む。）	2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導概論（進路指導を含む。）	2	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談（カウンセリングの基礎的知識を含む。）	2	
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習事前及び事後指導	1	
		教育実習	2	
	教職実践演習	教職実践演習	2	

- ※1. 単位数欄の下線は必修単位を表す。
 2. 法令では、最低修得単位数23単位であるが、農学部においては最低24単位を修得すること。
 3. 教育の基礎的理解に関する科目等の履修は原則として3年生以上を対象とする。

③ 文部科学省令で定める科目

免許法施行規則に定める科目区分	宮崎大学で開設する授業科目名	単位数	備考
日本国憲法	日本国憲法（注）	2	
体育	生涯スポーツ実践（注） （※名称変更の可能性あり）（2単位分を履修する）	2	
外国語コミュニケーション	英語Ac	2	教養教育科目（必修）
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報・データリテラシー	2	〃（必修）

（注）日本国憲法（2単位）・生涯スポーツ実践（計2単位）の履修については「4）受講科目登録に際しての注意」を参照すること。

※上記の科目は、法律の改正やカリキュラムの再編などにより、変更になる場合がある。
 変更となった場合は掲示等により周知されるので、周知事項に留意すること。

4) 受講科目登録に際しての注意

1. 前学期及び後学期の受講科目登録時に教職関係の科目も一緒に登録すること。
登録の際は、農学部用と工学部用に分かれている科目があるので注意すること。
2. 講義コード・開講時期・授業担当教員・教室については、農学部教職科目用の時間割
および農学部専門科目時間割で確認すること。（時間割は毎年変わるので、最新版で確認）
3. 教育実習事前及び事後指導、教育実習の科目登録は4年次の前学期に、教職実践演習は後期に
科目登録を行う。
4. 文部科学省令で定める科目の一部（英語Ac、情報・データリテラシー）を除き、他の教職関連
科目はすべて専門科目である。
5. 農業免許又は水産免許のみ取得を希望する者も、附属中学校での実習を行うため、教科教育法
（中等理科）、教科教育法（理科）は必修となるため注意すること。
6. 「日本国憲法」「生涯スポーツ実践」は、教職科目（卒業単位に含まれない）として開講する。
教員免許取得希望生のみ（原則として3年次以降）が履修可能で、農学部教務・学生支援係が
科目登録処理を行う（学生は登録できない）ため、履修を希望する学生は2月以降にポータル
サイト等で通知される連絡に従って申し込むこと。（※定員に空きがあれば2年次生も受講可）

5) 教育実習

1. 教育実習は附属中学校で行われる基本実習（3日間・4年次の4～5月）及び各実習高校での
応用実習（2週間程度・高校によって時期が異なる）がある。
2. 単位は事前事後指導1単位と、応用実習及び基本実習を合わせて2単位、合計3単位とする。
3. 3年次の4月中旬に教育実習校を決めるためのオリエンテーションを実施するので、
掲示等に注意すること。（実習を行う前年度に高校から内諾を得る。）
内諾後は教育実習を取りやめることはできないので、よく考えて実習の参加を決めること。
4. 賠償責任保険（学研災付帯賠償責任保険（学研賠）等）に加入すること。
5. 教育実習による授業の欠席は、原則として特別欠席とはならないため注意すること。
6. 教育実習の欠席は厳禁である。
7. 教育実習の受講に際し、麻疹の免疫があることが必須条件である。
3年次の4月中旬に実施するオリエンテーションにて、麻疹に関する文書（様式）を配付する。
4年次に教育実習の受講を希望する者は、3年次前期に麻疹の免疫があることの証明を提出する
こと。

6) 教育実習履修資格

教育実習を行う者は、次の条件をそなえた者に限る。

1. 教員採用試験受験予定の者
2. 各教科の指導法〔農業科教育法Ⅰ・Ⅱ、水産科教育法、教科教育法（中等理科）・教科教育法（理科）〕
を修得している者又は受講中の者

7) 教員免許状の申請について

免許状は、都道府県教育委員会に必要書類を取りそろえ申請することにより授与される。
農学部生分はとりまとめて宮崎県教育委員会へ申請するので、別途指定する期日までに教務・
学生支援係に提出すること。（卒業日に授与される）

なお、卒業後に申請する者は各自で各都道府県教育委員会に申請しなければならない。また、
免許状授与後に免許状に関する問い合わせを行う場合は、発行元の教育委員会へ行うこと。

8) 高等学校教諭専修免許状の取得について

宮崎大学大学院農学研究科では、農業又は水産の高等学校教諭一種免許状の取得資格を有している
者が別に定める単位を修得し、各都道府県教育委員会に申請をすれば、高等学校教諭専修免許状を
取得することができる。農学研究科では理科の専修免許状は取得出来ないため注意すること。

9) その他

- ・1・2年生を対象とした教員免許状取得希望者向けの説明会を4月に行う。希望者は参加すること。
- ・教員免許状取得に関して不明な点がある場合は、教務・学生支援係まで問い合わせること。
- ・住所・電話番号等、届け出ている事項に変更が生じた場合は、教務・学生支援係へ知らせること。
- ・各種伝達事項は掲示板等で行うため、常時、教育学部・農学部の掲示や連絡事項に留意すること。